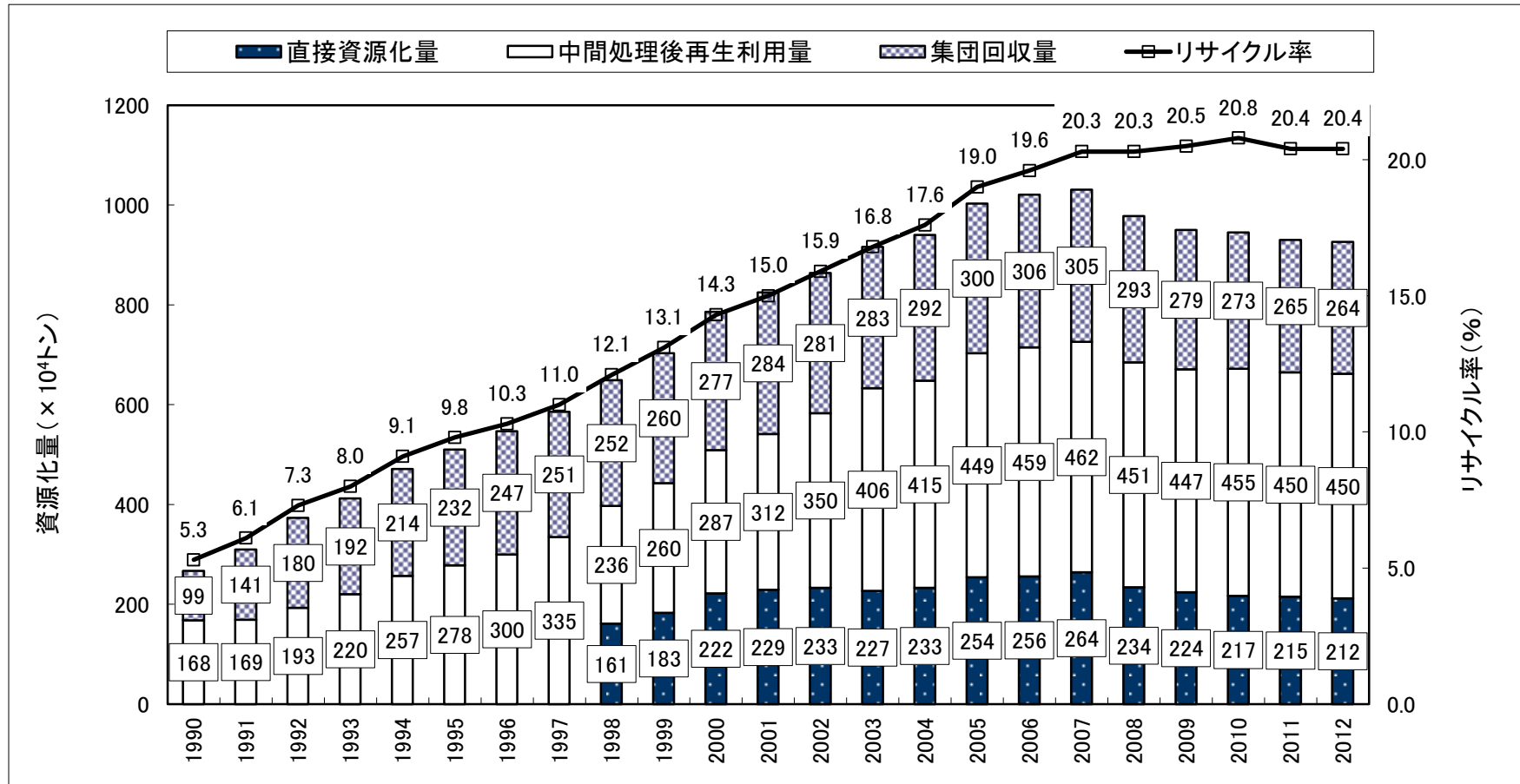


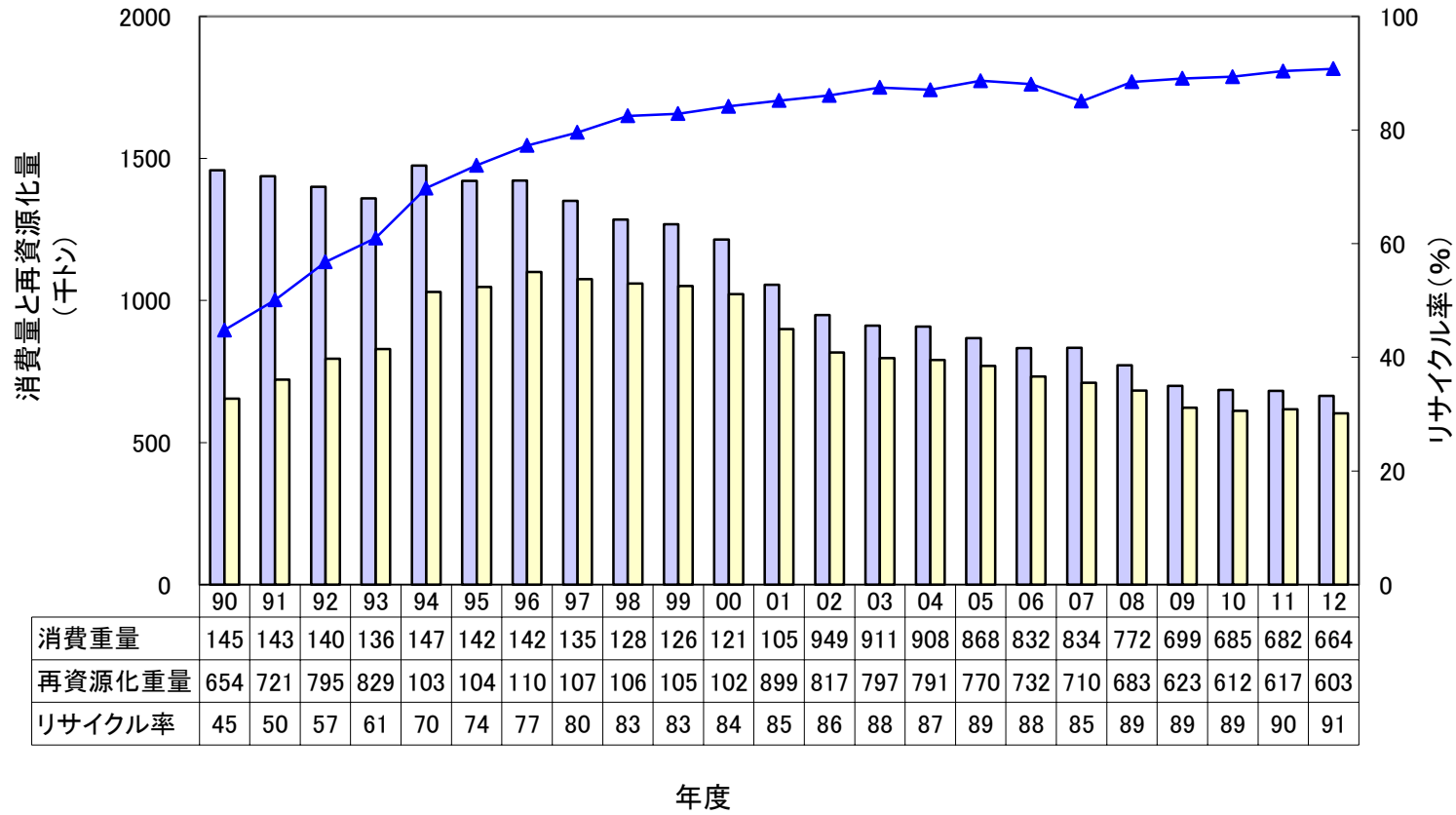
リサイクル率の推移



注)・「中間処理後再生利用量」とは、資源ごみ、粗大ごみ等を処理した後、鉄、アルミ等を回収し資源化した量である。

・「集団回収量」とは、市町村による用具の貸出、補助金の交付等で市町村登録された住民団体によって回収された量をいう。

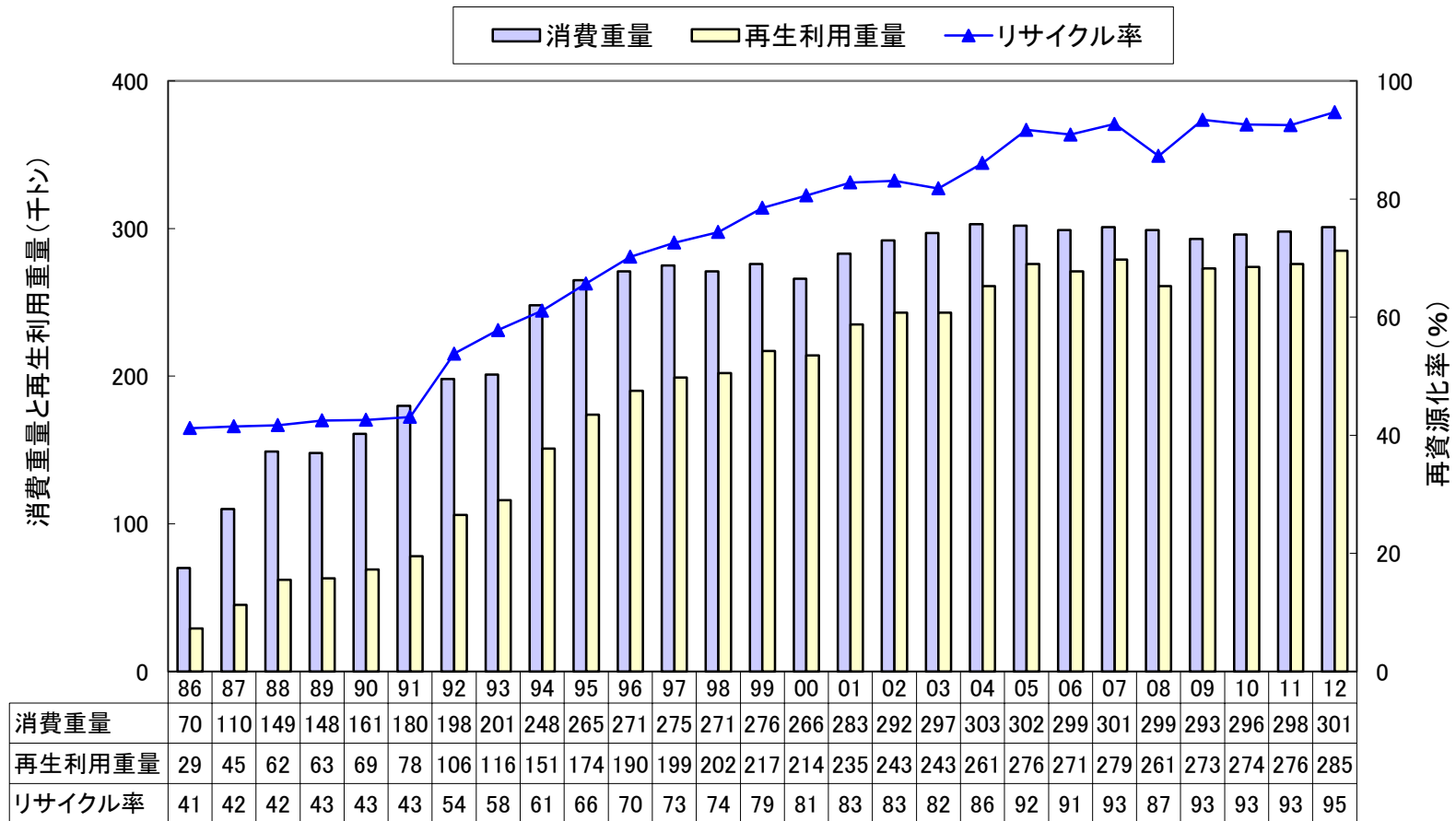
(スチール缶)



消費重量
 再資源化重量
 リサイクル率

スチール缶リサイクル協会資料

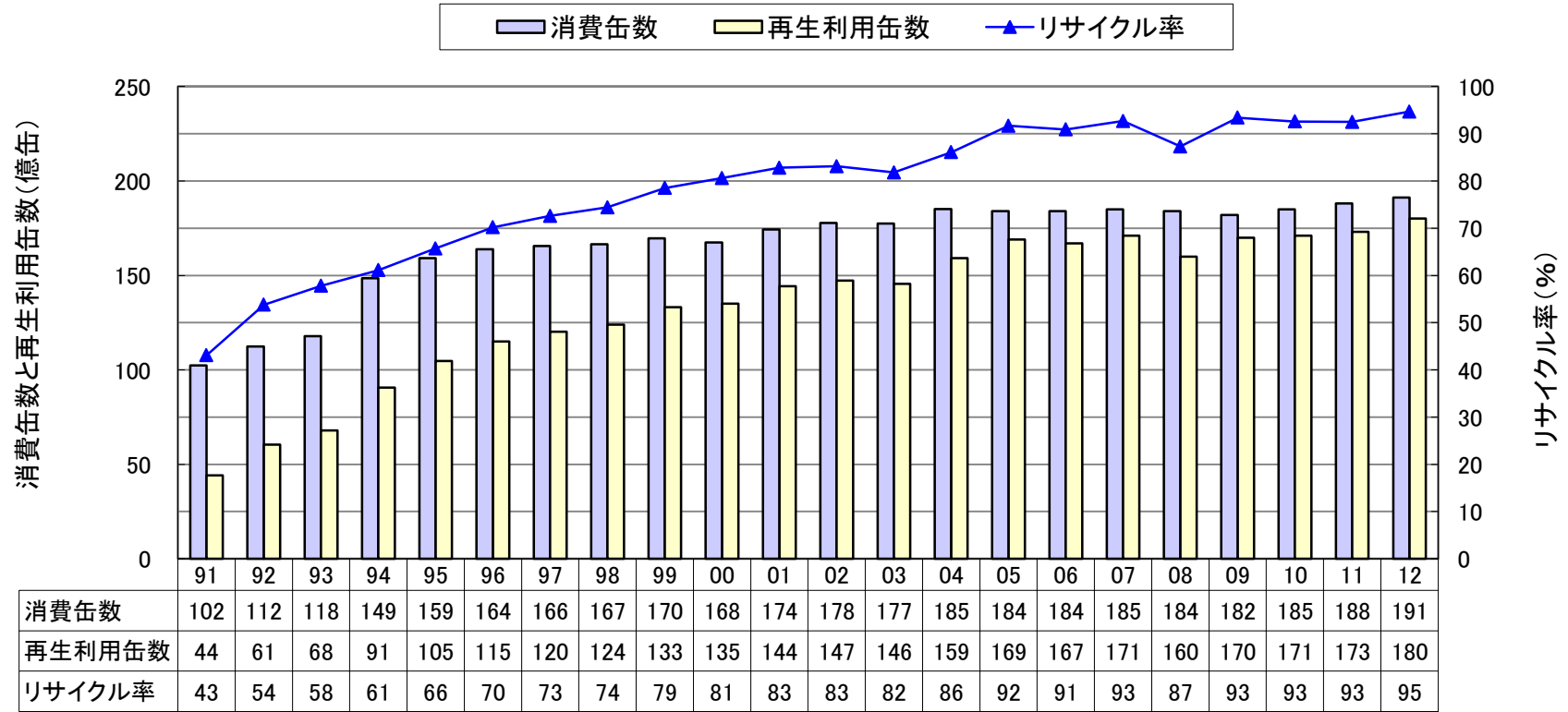
(アルミ缶)



年度

アルミ缶リサイクル協会資料

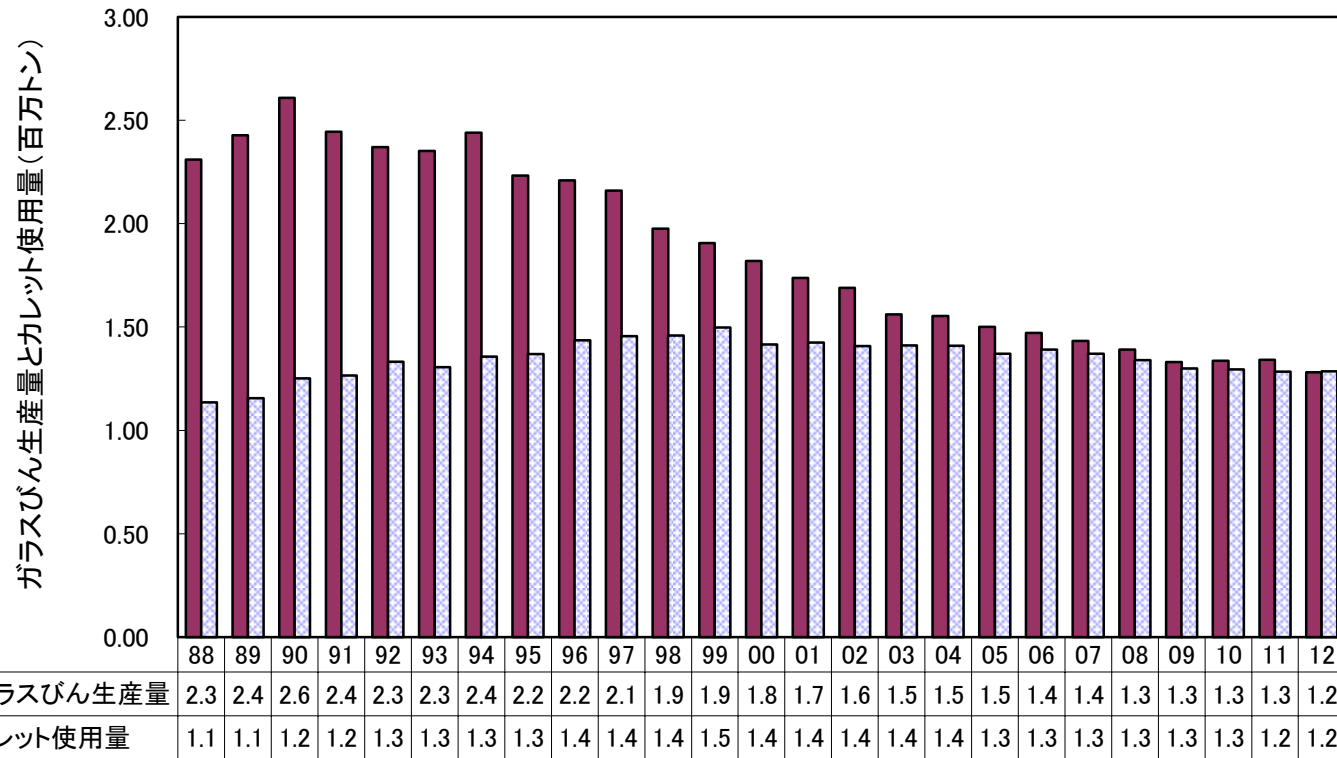
(アルミ缶)



年度

アルミ缶リサイクル協会資料

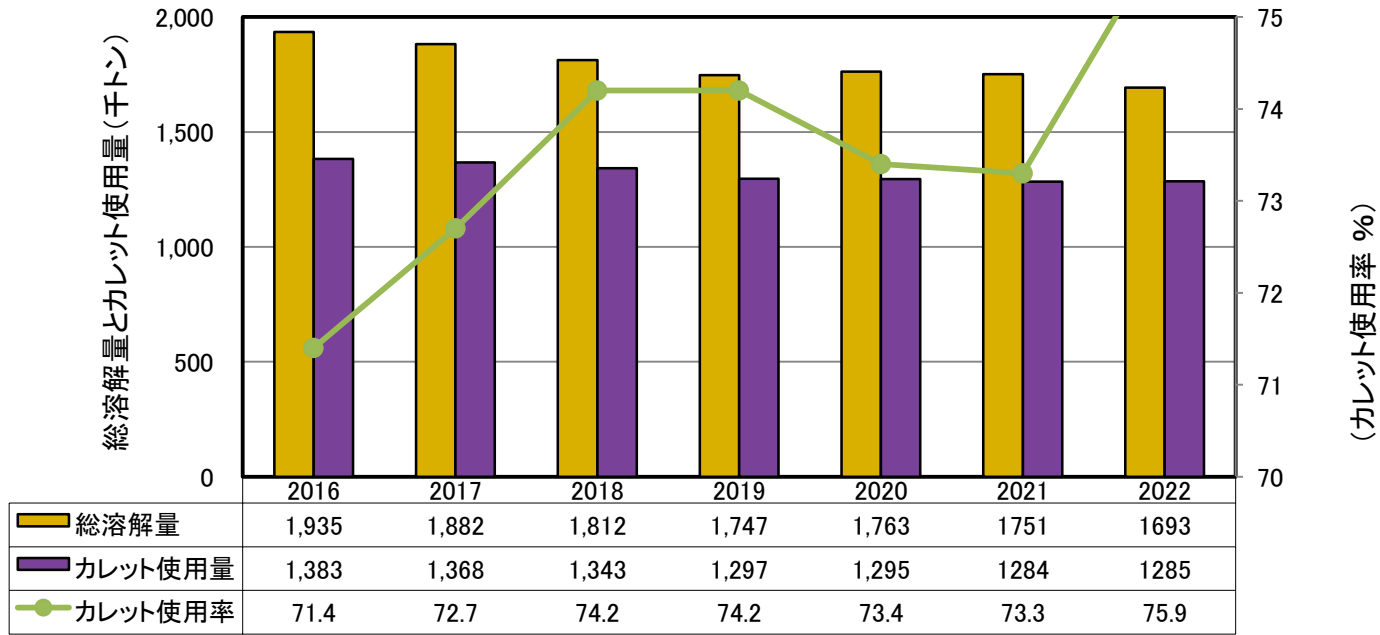
(ガラスびん)



年度

ガラスびんリサイクル促進協議会資料

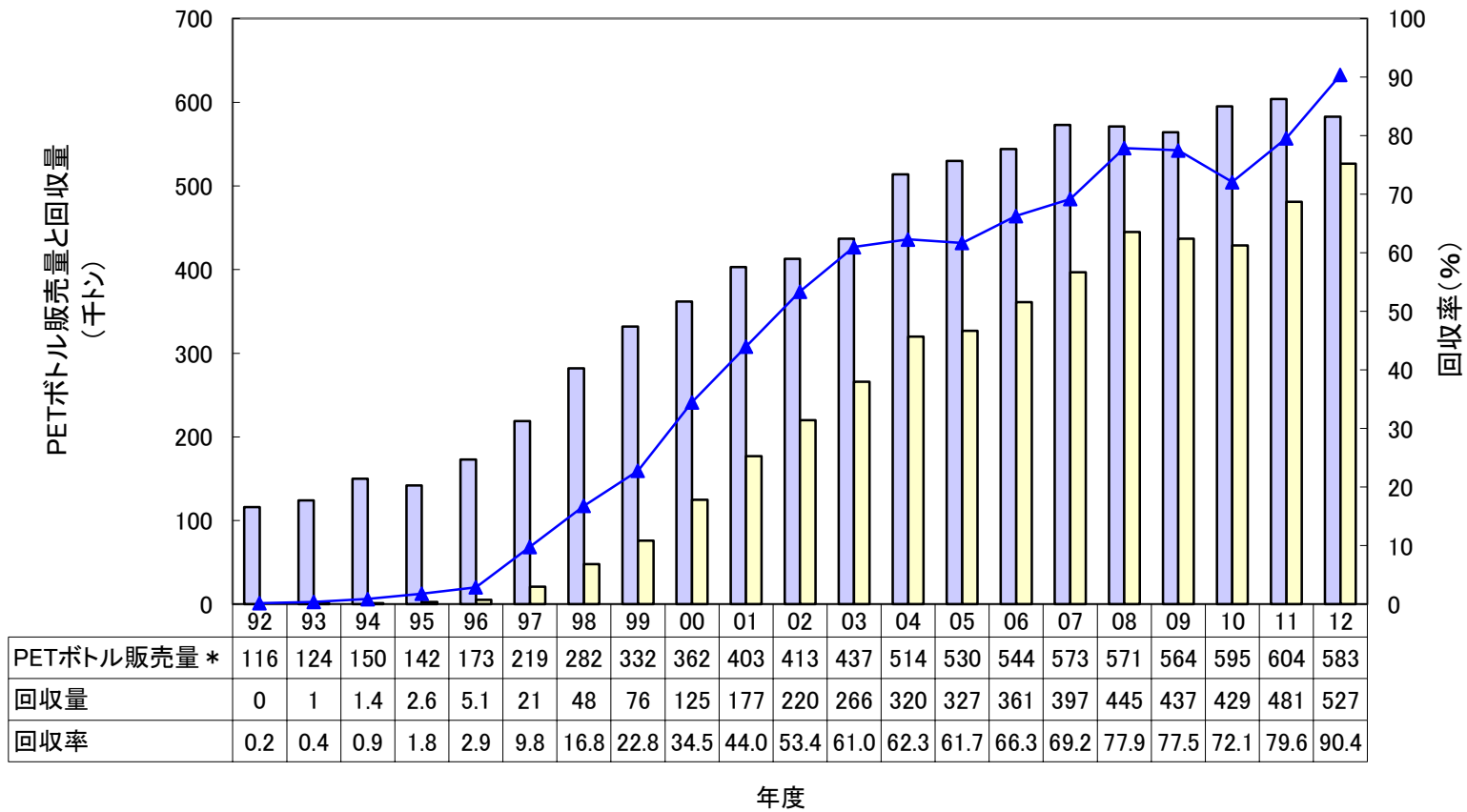
カレット使用量・カレット使用率の推移



総溶解量……ガラスびん生産のために溶解されたガラスびん原料(バージン原料+カレット)の総量

資料: 「総溶解量」…窯業・建材統計のデータを日本ガラスびん協会6社の資料を基に拡大推計
 「カレット使用量」…日本ガラスびん協会(大手びんメーカー6社で組織)資料及び
 ガラスびんフォーラム(びんメーカー9社で組織)資料
 「カレット使用率」…「カレット使用量」÷「総溶解量」

(ペットボトル)

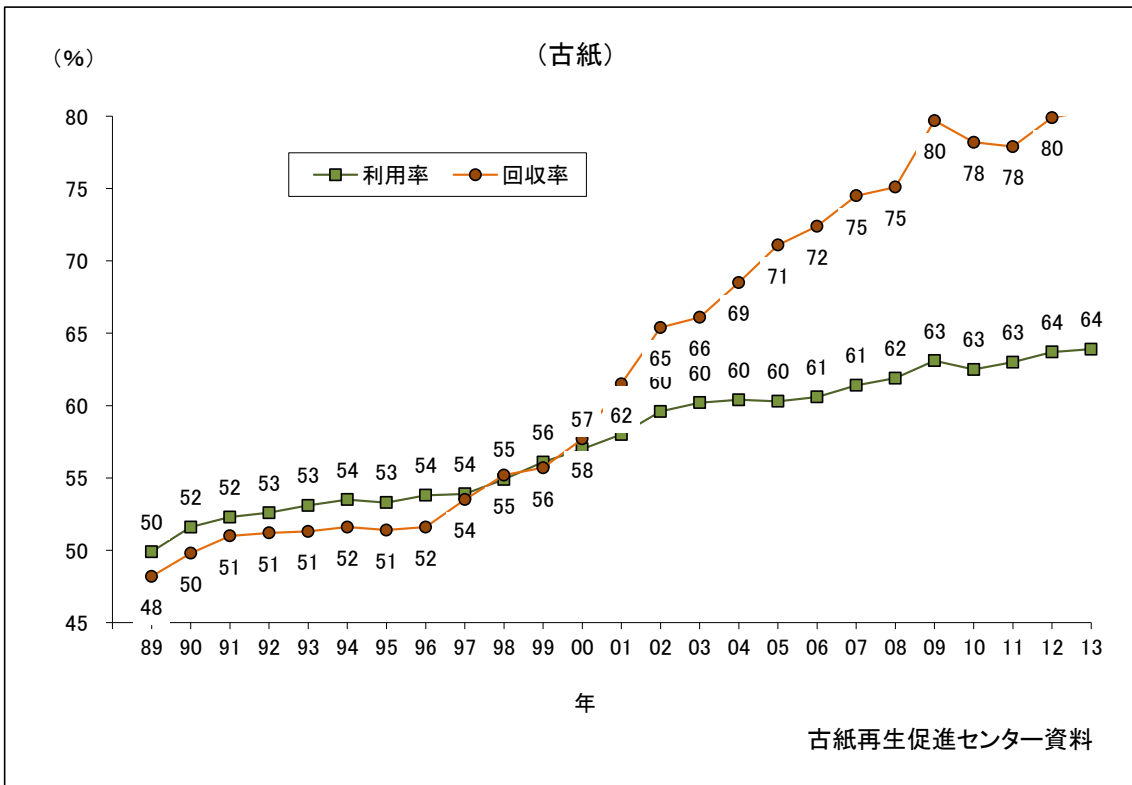
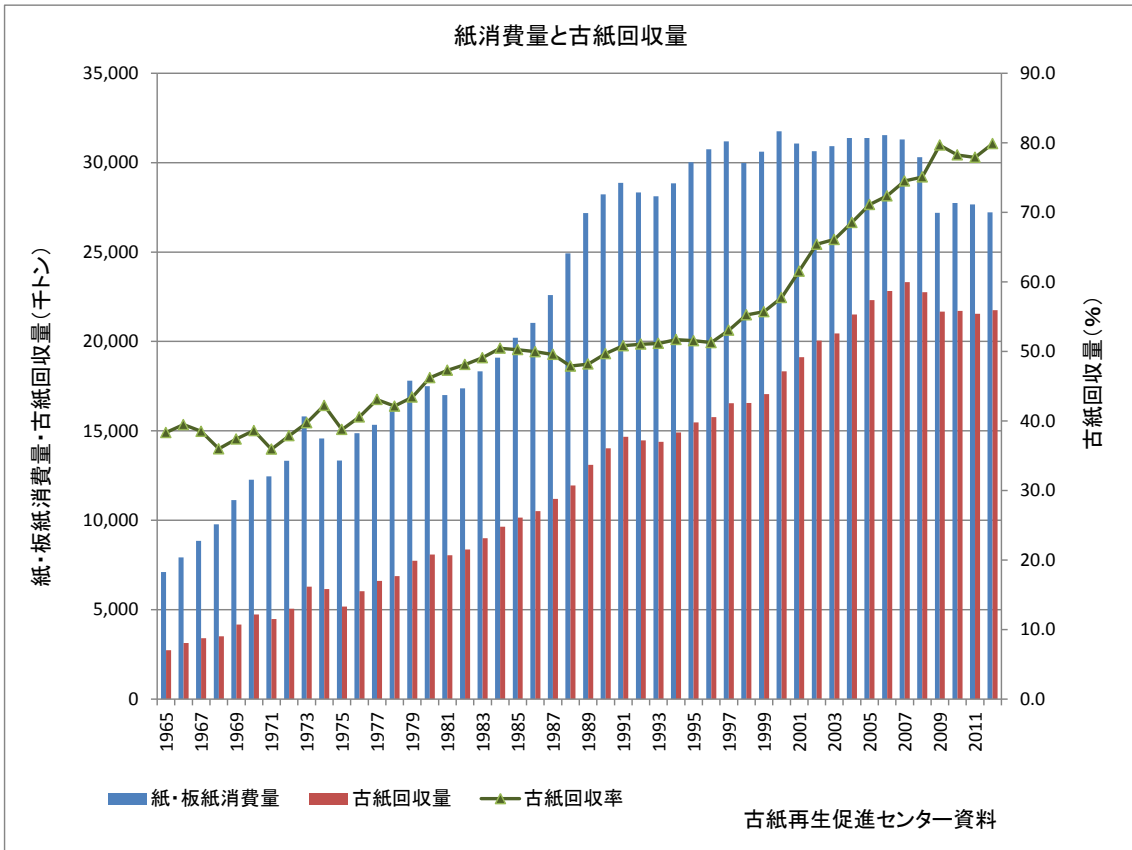


PETボトル販売量 *

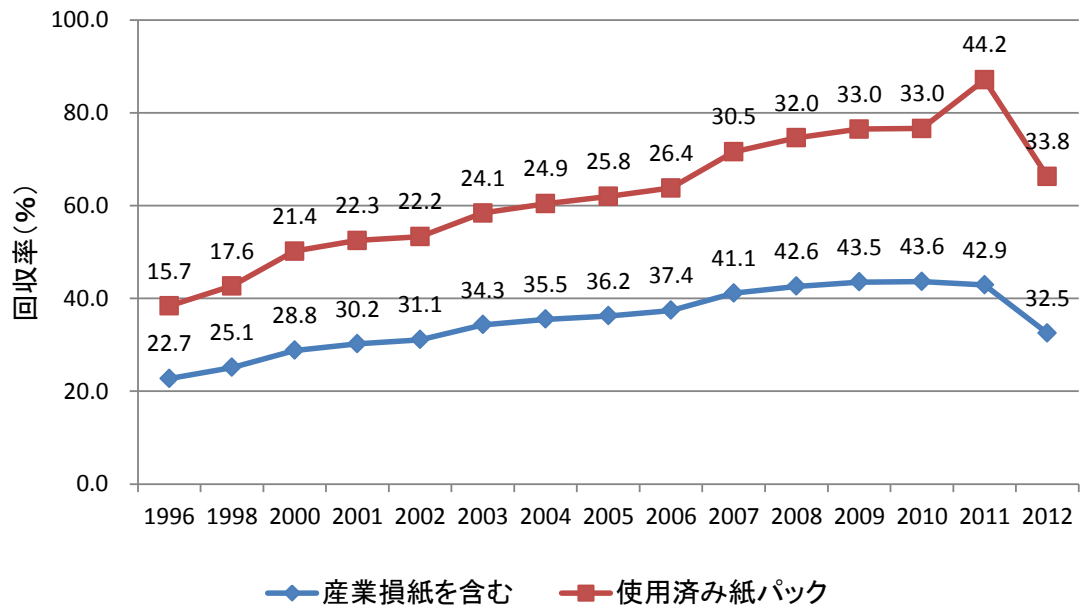
 回収量

 回収率

PETボトルリサイクル推進協議会資料



紙パック



全国牛乳容器協議会資料